

群放技会報

会告

平成24年1月吉日
社団法人 群馬県放射線技師会
会長 町田 利彦

第66回 定期総会（平成24年度 事業方針・予算総会）開催について

本会第66回定期総会（平成24年度 事業方針・予算総会）を定款第21条第1項に基づき、下記の通り開催致します。

記

期日：平成24年3月22日（木）19：00～
会場：群馬県立県民健康科学大学 西棟 多目的ホール
前橋市上沖町 323-1
電話 027-235-1211

以上

尚、一昨年より県の指導により年度内2回の開催で実施されています。今回は平成24年度の事業計画および会計予算（一般・特別）のための総会になります。

平成23年度の第67回定期総会事業報告および会計決算報告（一般・特別）のための総会は5月になります。

年頭にあたり新年のご挨拶

社団法人 群馬県放射線技師会会長 町田 利彦

明けましておめでとうございます。今日は、
昨年（平成 23 年 3 月 11 日（金））の東日本大震災後
の復興期の真っ只中ではありますが、やはり新しい
年の始まりは明けましておめでとうと言って、
新たな復興に放射線技師として何ができるのか考
えていきたいと思えます。

この 1000 年に一度と言われる未曾有の大震災
は、東北関東沖を震源とする大地震とそれによる
大津波で、たいへんな人的・物的被害をもたらし
ました。改めて人間の自然に対する無力さや、自
然の驚異を痛感させられました。さらに、大津波による東京電力福島第一原子力発電所の全電源喪
失事故と、それによる原子炉冷却不全から炉心溶融事故の発生へと、東日本大震災は単なる自然災
害にとどまらず、原発に対する管理体制の甘さ等の人的災害の部分も含まれてしまいました。さら
にこの原発事故は、自然環境下へ大量の放射性物質の放出という史上最悪の原子力事故になってし
まいました。

私たち放射線技師は、医師を始めとする災害派遣医療チームの一員としてだけでなく、厚生労働
省や各県の行政からの要請に応じて、日本放射線技師会からも地方技師会からも、放射線サーベイ
ヤーとして福島県へ派遣されました。また、近県では福島県からの避難者受け入れ時の放射線サー
ベイを担当しました。これらのことは、私たち放射線技師が、放射線の専門家としての社会的評価
の向上に寄与していると考えています。現在でも、日本放射線技師会からは、福島第一原発内の診
療所への派遣を継続しています。地方技師会へも要請が来ています。事故の内容からも簡単に終息
は考え難く、長期に渡る派遣となるでしょう。日本放射線技師会ホームページを参照してください。
放射線サーベイへの協力者を募集しています。

さて、事故後、放射線アレルギーなる一般人が増えていることは、皆さんご存知のことと思いま
す。私たち放射線技師は、実際に放射線サーベイヤーとして派遣されなくても、社会の中で放射線
の専門家として扱われます。市民に一番身近な放射線の専門家として、放射線の人体への影響につ
いて安心を与えられる説明等も出来るはずで。今まさに、その能力が国民から求められているの
です。日常の放射線診療においても、放射線に対して不安に思っている患者さん一人ひとりの声に
耳を傾け、不安を取り除いてあげることが私たち放射線技師の社会的責務だと思います。群馬県放
射線技師会も、技師会雑誌等を通じて情報提供をしていきます。会員の皆さん、この放射線技師と
いう職業を選択したということは、職業に伴う社会的責任も選択したということです。会員各位の
奮闘を期待いたします。



群馬県庁放射線技師会第 21 回学術部研究発表会及び特別講演のお知らせ

下記のとおり群馬県庁放射線技師会学術部研究発表会及び特別講演を開催いたしますので、群馬県放射線技師会員の皆様からの御参加をお待ちしております。

記

日 時：平成 24 年 3 月 3 日（土） 13：00 から 18：00 まで

場 所：群馬県立県民健康科学大学 西棟 多目的ホール

参加費：無料

プログラム：

13:00 開会

13:10～14:10 第 1 セッション 座長：須賀 哲（群馬県立がんセンター）

- 1 3TMRI における化粧品のアーチファクトについて
○谷口杏奈（群馬県立県民健康科学大学）
- 2 当院における CR システムの S 値と被ばく線量に関する検討
○野本泰平（心臓血管センター）
- 3 当院の DSCT における肺静脈造影の検討
○齋藤和歩（心臓血管センター）
- 4 心臓 CT における CT-AEC を用いた管電流設定法の検討
○富岡聡志（心臓血管センター）
- 5 SOMATOM Definition AS+ の初期使用経験
○清水宏史（小児医療センター）
- 6 ポータブル撮影における低格子比グリッドと高格子比グリッドの比較・検討
○石田直哉（小児医療センター）

14:20～14:50 特別講演 1 司会：川崎英弘（富岡保健福祉事務所）

血管造影剤による赤血球・動脈壁への影響 講師：群馬県立県民健康科学大学
教授 平野邦弘 先生

14:55～16:05 第 2 セッション 座長：町田貴志（安中保健福祉事務所）

- 7 モニタ線量計の校正時におけるセットアップエラーによる線量評価
○湯浅大智（群馬県立がんセンター）
- 8 放射線治療時における搬送用マット等による線量減衰について
○小島一将（群馬県立がんセンター）
- 9 前立腺照合 CBCT における撮影条件の検討
○橋本和也（群馬県立がんセンター）
- 10 東日本大震災における放射線技師災害派遣活動報告
○持木瑞規（心臓血管センター）
- 11 福島第一原発 5/6ER 従事報告
○小池幹義（渋川保健福祉事務所）
- 12 福島第一原子力発電所周辺地域を対象とした放射性物質の沈着状況等調査活動参加報告
○下瀬川正幸（群馬県立県民健康科学大学）
- 13 3.11 後の計画停電における学術情報ネットワークの運用と対応
○星野修平（群馬県立県民健康科学大学）

16:15～17:45 特別講演 2 司会：篠原康治（群馬県庁放射線技師会 会長）

画像診断の飛躍～医療画像のサイエンス技術～

講師：群馬県立県民健康科学大学
学長 土井邦雄 先生

18:00 閉会

平成23年度 群放技女性部勉強会開催のご案内

下記のとおり群馬県放射線技師会女性部勉強会を開催いたしますので、群馬県放射線技師会員の皆様からの御参加をお待ちしております。

記

日時 : 平成24年 2月 8日 (水)
時間 : 19:00～21:00
場所 : 群馬県立県民健康科学大学 多目的ホール
会費 : 群馬県放射線技師会員・・・無料
非会員・・・1000円
内容 : 「マンモグラフィ読影の基礎」
講師 : 横江 隆夫先生 (渋川総合病院院長)

以上

編集後記

昨年は理事の顔ぶれも変わり、一同新たな取り組みにもチャレンジしております。また会員の皆様におかれましては、日頃より格別の御厚情を賜り、厚く御礼を申し上げます。

本年も理事、渉外広報部一同、皆様にご満足頂ける情報を心がける所存でございますので、何とぞ昨年同様のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

皆様のご健勝と貴院の益々のご発展を心よりお祈り致します。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

皆様からの掲載依頼をお待ちしております。

渉外広報部

群馬大学医学部附属病院 嶋田博孝

※渉外広報部、ホームページ等のお問い合わせは、下記のメールアドレスにてお願い致します。

問い合わせアドレス e-mail: gart.park.orange.zero.jp

群馬県放射線技師会ホームページ <http://orange.zero.jp/gart.park/>

ホームページ担当者 : 東邦病院 亀田順一

編集責任者 : 群馬大学医学部附属病院 嶋田博孝

発行責任者 : 心臓血管センター 町田利彦

事務局 : 〒371-0031

前橋市下小出町 3-23-1 (栗原レントゲン株式会社内)